



2020年2月14日

各 位

社 名 インパクトホールディングス株式会社
代 表 者 代表取締役社長 福井 康夫
(コード番号：6067 東証マザーズ)
問合せ先 代表取締役副社長 寒河江 清人
(TEL. 03-5464-8321)

2019年12月期通期連結業績と前期実績との差異に関するお知らせ

2019年12月期通期(2019年1月1日～2019年12月31日)の連結業績と前期実績値との差異について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2019年12月期連結業績と前期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株あたり 当期純利益
前期実績 (A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2018年12月期	6,277	406	405	330	66.85
当期実績 (B)	7,909	514	△306	△1,589	△288.62
2019年12月期					
増減額 (B-A)	1,632	108	△711	△1,919	—
増減率 (%)	26.0	26.6	—	—	—

2. 差異が生じた理由

HRソリューション事業において、既存事業における受注件数増に加え、M&Aにより子会社化した株式会社伸和企画の販路拡大及びグループ会社間での営業シナジー効果により売上高は順調に推移し、更にIoTソリューション事業において、株式会社 impactTV で現在集中的に取り組んでいる飲食・小売店舗向けオンライン型サイネージに加え、美容室・ネイルサロン等を媒体とする広告事業者向けインフラ型オンラインサイネージの受注の増加により、売上高・営業利益とも前期と比較して大幅に増加しました。

しかしながら、第2四半期連結会計期間においてインドにおけるコンビニエンスストア事業において共同出資により設立した持分法適用関連会社である Coffee Day Consultancy Services Limited に対する投資持分のうち、のれん相当額である 807,897 千円を持分法による投資損失として計上したこと等により経常利益は前期比大幅減益となり、更に第2四半期連結会計期間に、インドにおけるコンビニエンスストア事業の共同出資パートナー企業である Coffee Day Global Limited (以下、「CDGL」という)への貸付債権 1,121,144 千円に対して全額貸倒引当金を設定し繰入額として計上したこと等により親会社株主に帰属する当期純利益においても前期比大幅減益となりました。

2019年8月14日付けで開示した「2019年12月期第2四半期報告書の提出期限延長に関する承認申請書提出に関するお知らせ」のとおり、CDGLの親会社でありコンビニエンスストア事業の共同出資パートナー企業である Coffee Day Enterprises Limited の創業会長であるシッダールタ氏が急逝した際、生前書簡に記した『最高経営者兼財務責任者として決裁した各金融取引』のうち急逝したことにより社内共有されていない事項について、決

算を確定させるために速やかに明らかにし、改めて社内共有する必要性が生じたため、第三者機関に調査に入りましたが、現時点においても調査は継続中であり、CDGL への貸付債権の回収可能性評価に必要となる CDGL の財務情報を入手出来ておりません。

また、2019 年 12 月 23 日付で開示した「インド共同出資パートナー企業への貸付金の回収交渉の開始に関するお知らせ」のとおり、貸倒引当金 1,121 百万円、持分法投資損失 807 百万円の計上により低下した自己資本比率を改善させるべく、当社が CDGL へ貸付けている 1,121 百万円については回収し、貸付債権全額に相当する貸倒引当金の戻し入れについて監査法人アリアと協議すべく、貸付先である CDGL と貸付債権の回収についての交渉を開始し、現在も継続して交渉を行っております。

以 上